NPO法人帯津良一 場の養生塾

2021年6月 **No. 5**



|| 養生塾設立20周年記念シンポジウム

皆さん、こんにちは! コロナ禍がまだまだ終息せず東京などでは緊急事態宣言が再延長され (2021.6.1 現在)、特に酒類提供の出来ない飲食店等のダメージは計り知れない状況が続いているだけで なく、私たち国民も(食前)酒も飲めない外食なんて!と、心がときめく"場"が更に減ってしまっているのではないでしょうか?

さて、そんなコロナ禍の中、当 NPO 法人は帯津先生が創設した養生塾の設立 20 周年記念行事をなんとか 1月 30 日に実施することが出来ました。講師としてお願いしていたカール・ベッカー京大医学部特任教授には、京都からオンラインで参加いただき、計画は二転三転しながらも、コロナ禍の現状やその先をも見据え、"いのちに寄り添い"続ける帯津養生塾の記念すべき一日となりました。今号はその報告を中心に、定期総会の報告と併せて特集を組みました。

又、帯津先生のナマの声を電波に乗せて放送している FM 西東京さんと、当養生塾とのコラボで企画したクラウドファンディングが公開されています(5/9 付け)。当 NPO 法人の願いは、この支援金により帯津先生のこれまでの活動の軌跡を、連続講義録等の動画 DVD として残し、未来に繋いで行くことがメインであります。これからも皆様のご支援ご協力お願い致します(事務局篠崎)

清風、戦友そして 生と死の統合

治したり癒したりは、いわゆる方便であって、 医療の本来の目的は、たとえ病のなかにあっても 日々、患者さんが人間の尊厳を保ちつづけることを サポートすることであると、いつの頃から思うよう になりました。そして、その基本中の基本は 患者さんに寄り添うことであり、さらに、それには からだに寄り添う

こころに寄り添う

いのちに寄り添う

の三つのステップがあることもわかってきました。

NPO 法人帯津良一場の養生塾理事長 帯 津 良 一



からだに寄り添うとは文字通り、身を寄せることで、黙って身を寄せるだけで、患者さんに 性牧の**一清風故人来る**一の清風を味わっていただかなくてはなりません。そのために必要なのは 日々向上の精神です。こころに寄り添うためには患者さんと戦友の関係にならなくてはなりませ ん。あのいのちをかけて心底苦楽を共にする戦友の間柄です。

そして、いのちに寄り添うとは、死をいのちの終わりではなく、いのちの一つのプロセスと考えて、患者さんが生と死を統合するのをサポートすることです。この生と死の統合こそホリスティック医学の究極であり、医療の最終目標です。

かくして、清風、戦友、そして生と死の統合をすべての医療者にとっての「日々是好日」の糧 として肝に銘じたいと思います。

養生塾設立 20 周年記念シンポジウムに

2021年1月30日

▶帯津先生講演時にバックの投射したスライドより(抜粋)

講演&ディスカッション

「がん治療 58 年の現場で培ったいのちに寄り添う医療」 帯津良一











中国医学、気功を取り入れて 李編先生、その約の先生を招聘しての研修 副 重集さん 道場にて気功研修







代替医療もがん治療に!

日本だけでなく世界の関係者ともつながりを求めて サイモントン博士との交流 アンドルーワイル博士との交流 CAMUNet シンボジウム そして、ホメオバシーにたどり着く 代替医療中心のクリニック開院





楊名時太極拳

帯津三敬病院で、気功練功の大きな柱

医療と養生の統合を目指して、病院の枠を超えて養生塾を! 楊名時太極拳21世紀養生塾の設立(2000年)







近年の各地養生塾の活動

いわて養生塾、群馬養生塾、長野水輪養生塾 岡山養生塾、大分ゆふいん養生塾、沖縄養生塾



新帯津三敬病院へ移転

直心館道場が新病院の院内設置 養生塾として、地元川越のリレーフォーライフに参加 池袋養生塾の開始 ときめき養生塾で人材育成に着手





養生塾設立20周年おめでとうございます。

理事 大野 聰克

養生塾創立20周年を迎えることが出来ました。これも皆さまのご協力の賜物と思います。

2000年に帯津先生はホリスティック医学を深めていく中で、病院という形にこだわっていてはがんを克服することは難しい。内なる生命場のエネルギーを高め、ひいては地球の場の躍動につながるよう、楊名時先生にお願いして、病院道場に「楊名時太極拳 21 世紀養生塾」を設立しました。最初のスタッフは帯津病院の職員で、私も

末尾に加えて頂きました。

その後、全国のあちこちでもその趣旨に賛同する方々が『養生塾』の名乗りを挙げられて、一時は全国で約20カ所の『養生塾』が出来ました。

川越で産声を上げた養生塾ですが、当初は申し込み者が多く希望者全員を受け入れると 65 名位になったと思います。六ヶ月を一期として一年に二回募集しましたが、大部分の塾生はリピーターでした。募集する度に人数は増えてゆき、当時の道場は 48 畳の畳敷きで 50 人もの塾生が一度に太極拳は出来ないので前半と後半の二回に分けて行いました。一期が終わるごとに太極拳の昇段試験を楊名時先生、帯津先生の前で受けました。これを楽しみにしていた人も多かったと思います。

- 2005年に楊名時先生がお亡くなりになり、昇段試験はなくなりました。
- 2008年には養生塾の名称変更をして『帯津良一場の養生塾』と改めました。
- 2009年4月 病院は新築移転して、それと共に道場も病院内に移転しました。
- 2013年 以降中略(下記参照)
- **2021年** 本日の「設立 20 周年記念シンポジウム」開催の運びとなりました。 これからも、帯津良一場の養生塾のご支援ご協力お願いいたします!



養生塾20周年のあゆみ

▶説明時のスライドより(抜粋)

1982 11/1帯津三敬病院開院

1983 三学修養会発足

楊名時太極拳・八光流・丹田呼吸法でスタート

2000 楊名時太極拳21世紀養生塾設立

2002 新呼吸法「時空」誕生

2004 帯津三敬塾クリニック開院

2008 帯津良一「場」の養生塾として再出発





2009 帯津三敬病院新築移転 病院内に直心館道場

2013 NPO法人帯津良一 場の養生塾とする

2014 リレーフォーライフジャパン川越に参加

2017 第1回養生セミナー開催 定款変更

2018 新NPO法人出発 池袋養生塾開設

2019 第1回全国ネットワーク会議・養生大会開催

2020 連続講座「ときめき養生塾」開設

2021 設立20周年記念シンポジウム開催







養生塾設立20周年記念シンポジウムを終えて

事務局統括 篠崎 一朗

コロナ禍で340名定員の会場にも多くの人を集められない、という中で、今回のリアル会場とZOOMオンライン参加での講演会形式は、コロナ禍でもなければ考えられないことでした。小さなトラブルも発生しましたが、結果は内容の濃い『いのちに寄り添う医療のシンポジウム』になったと思います。

帯津先生の半世紀以上に亘るがん患者に寄り添い続けた取り組みと、ベッカー先生の"日本人の死生観研究"からのお話しが見事に融合し、生死を超える目に見えない世界(あの世)にも寄り添うことで、患者だけでなく、家族も癒され、生命場のエネルギーが高まっていく。そのようなことが、厳しい病気に立ち向かう為には大事な事なのだ、ということを考えさせられたシンポジウムになったと思いました。又、木暮副理事長の街場の医院で在宅医療も担う立場の医師からの、"死を恐いというより死を忘れていたい人々にどう分かってもらえるか?"という問題提起に、ベッカー先生も答えられていましたが、これについての正解はないのではないでしょうか。家族・地域等社会環境によっても対応が違ってくるからです。他にも諸所いのちの深遠さを考えさせられた意義深いシンポジウムでした。今後も帯津良一場の養生塾でこのような場を企画・開催していきたい、と思いを新たに致しました!

2020~2021 活動報告

◆2020/12/12 川越·池袋合同練功交流会

毎週一回、気功や太極拳の練功に集う池袋養生塾の皆さんと川越養生塾 の皆さんと一緒に、帯津先生の気功を練功したり、太極拳が出来てとても 楽しかったです。(池袋塾生談)

- ◆連続講座<帯津良一ときめき養生塾> 次号報告
 - ・第6回12/18 ・第7回1/16 ・第8回2/20 ・第9回3/6
- ◆2021/1/30 養生塾 2 0 周年記念シンポジウム 表紙 p2~4 記載 南大塚地域文化創造館 南大塚ホール 13:30~16:30

「いのちに寄り添う医療」帯津良一先生&カール・ベッカー特任教授

◆3/6(土)2021 年度 定期総会 14:30~としま区民センター会議室

昨年の定期総会と同様の新型コロナ禍の中での開催となりました。今年も会場確保が難しく、更にときめき養生塾連続講座との同日開催となってしまいましたが、正会員の皆様に無理のない範囲での参加を頂き、無事 2021 年度定期総会も終了しました。ご協力ありがとうございました。

- 出席者 10 名、書面出席(委任状)21 名で成立)
- ■議事 2020 年度事業報告、決算報告、2021 年度役員・事務局体制、2021 年事業計画、予算案 その他について、審議、議決・承認されました。2021 年度に通常ベースの活動が出来るか分かりませんが、またご支援ご協力お願いいたします。



1/30設立20周年記念シンポジウム



事務局からのお知らせ

★クラウドファンディング (帯津先生活動支援の協力募集活動) にご協力を!

|帯渣良―医師の「ときめき養生法」を、語りと映像で未来につなげたい!

≪よりよく生きるために≫ 病を治すことだけが健康になる手段ではありません。加齢による老化現象や進行したガンであっても、いのち全体で健康を捉え、豊かな人生を送ることを提唱している人がいます。 癌治療 58 年の医師、帯津良一先生。帯津先生が伝えようとしている生き方を、ナマのラジオ音声や講演会、SNS そして DVD 等を通じてこれまで以上に広めたい。それがこのプロジェクトの願いです皆様のご支援ご協力をお願い致します。(別紙チラシ参照)

★第2期、ときめき養生塾~[™]いのち(生死)まるごと寄り添って [‴](仮称)のご案内

第2期ときめき養生塾は、帯津先生がこれまで取り組んでこられた「いのちに寄り添う医療」を体系的に学びながら、看護や介護などの医療関係者等を主たる対象に、家族や自身のケアも含め、当事者として日頃直面する悩みや思う事など、具体的な事例研究の場として少人数ゼミ的な場を開いていきたいです。

現時点では 2021 年度後半の開講を予定していますが、コロナウイルス感染状況による会場確保などの関係で詳細は未定です。(詳細が決まりましたらご連絡いたします。)

★2021 年度の各地の養生塾

☆岡山氣の養生塾 ☆群馬養生塾は、2021年5月末現在開催日は未定です、決まり次第お知らせいたします。(☆水輪長野養生は9月以降で日程調整中のようです)

☆ゆふいん養生塾 2021/02/06 終了しました , ☆いわて養生塾 今年度も中止

NPO法人帯津良一 場の養生塾 (篠崎)

350-0021 川越市大字大中居 545 番地 帯津三敬病院直心館道場内

T 049-293-1714 Fax 048-610-8305

Mail; info@ba-youjyo.com Web; www.ba-youjyo.com

編集後記

帯津三敬病院の庭の立葵がすっくと咲き揃いました。 今にも梅雨入りしそうな青空に向かって白 緋 絞り の花を開き、いのちのエネルギーを放出しています。 突然の青嵐の突風に身を任せながらも、足元はびくと も揺るがず大地にしっかり根を張っています(広報)